

国際化学肥料ニュース（2010年6月）

肥料業界の2010年6月動態

- * 6月1日、BPC（ロシアとベラルーシの塩化加里販社）は7月1日からヨーロッパ向けの塩化加里を値上げする通告。標準結晶塩化加里の CFR 価格は 280～282 ユーロ/トンから 305～307 ユーロ/トンに、大粒塩化加里は 297 ユーロ/トンから 322 ユーロ/トンに、理由はユーロの為替安。
- * 同様に、BPC はブラジルに輸出する塩化加里も 7月から値上げすると通告。塩化加里は 6月の CFR 400 ドル/トンから 425 ドル/トンに。理由はブラジルの加里肥料需要増。ブラジル今年度の塩化加里輸入量は 580 万トン予定、1～5月にすでに 210 万トン輸入済み、6～9月が 80 万トン/月の輸入予定。
- * インド政府が 2010年4月1日から化学肥料に対する補助金政策を改正した。主な改正点は 1. 肥料養分の含有量に対する補助。2. 輸入と国産に区別無く全面補助である。2010年は窒素（N）1kg あたりに 0.5 ドル、りん酸（P2O5）1kg あたりに 0.57 ドル、加里（K2O）1kg あたりに 0.53 ドルであるため、DAP は 353.65 ドル/トン、MAP は 352.59 ドル/トン、重過石は 262.76 ドル/トン、塩化加里は 319.39 ドル/トンの補助金となる。

2010年の化学肥料補助予定金額は 108.7 億ドル、昨年 の 117.17 億ドルやや減少する。なお、2008 年は 208.7 億ドルであった。
- * 中国の胡錦濤国家主席がカナダで開催された G20 期間中に、カナダ政府と経済協力関係を強化する会談結果を受け、中国の中川国際鉱業はカナダに塩化加里の採掘生産意向書を締結した。生産能力は 300 万トン/年、採掘場所、着工時期は未定。
- * 中国尿素メーカーは 6月末現在、主要港に 150 万トン尿素を集積している。7月1日からの尿素非需要期に輸出するため。但し、提示された FOB 価格は 250～260 ドル/トンで、価格的魅力がない。

大手各社の営業業績

- * イスラエル ICL 社が 2010 年第 1 四半期の業績を発表した。2010 年 1～3 月加里肥料生産量は 99.6 万トン、販売量は 133 万トン、そのうち輸出量は 127.3 万トン、売上高 5.388 億ドル。3月末の在庫は 258.4 万トン。

*

6月の大口契約と輸出：

- * タイの商社は Capotex と 2 万トン塩化加里の輸入契約をした。価格は CFR415～430 ドル/トン。一方、IPC はマレーシアに 2 船計 3 万トン塩化加里を輸出。価格は CFR400～410 ドル/トン
- * ドイツ K+S 社は 6月15日からヨーロッパ向けの塩化加里に対して 8 ユーロ/トンの値

上げを通告した。

- * インド IPL は Canpotex から 9 万トン塩化加里の現物を購入する契約を締結した。これに伴い、インドが 6 月に輸入する塩化加里の数量は 132 万トンに達する。
- * B C P は 6 月末にバングラデシュに 2.5 万トン、ニュージーランドに 1.5 万トン塩化加里に輸出した。
- * ブラジル今年の塩化加里輸入量は 580~600 万トンに達し、その中、7~12 月の輸入量は 370~390 万トンと予定している。B C P はブラジルに対して、7 月以降の CFR 価格は 425 ドル/トンと提示したが、ブラジルが応じなかった。400 ドル/トンで折り合う可能性が高い。
- * ロシアからブラジルに 2 万トン尿素を輸出、FOB 価格 230 ドル/トン。

肥料プラント新規建設

- * イラク工業鉱業省はイラク国営肥料所属尿素工場の設備更新に日本 ODA 円借款を利用することを発表した。当該工場は現在 33 万トン/年のアンモニア合成装置と 57.5 万トン/年尿素生産設備それぞれ 2 セットを有し、設備の老朽化のため、最新設備を導入し、尿素の生産能力を増強する予定。完成は 3 年後、国内尿素需要量の 70% を賄う。
- * 4 月、ブラジルのヴァーレ社はペルの Bayovar 燐鉱山を開発するため、アメリカ Mosaic 社及び日本三井物産との間に合弁会社を設立した。持ち株はヴァーレ社 40%、Mosaic 社 35%、三井物産 25%、投資総額 5.66 億ドル、今年下半期から生産開始、年間りん鉱石採掘量 390 万トン予定。
- * 中国湖北省遠安県に大型燐鉱山が発見された。推測埋蔵量 4.29 億トン、P₂O₅ 含有量 25% 以上の一級品鉱石が 30% 以上。
- * インドは尿素に使う天然ガスの確保に力を入れた。これに伴い、IFFCO (インド農協連合会) の Aonla 工場、タタ化学の Chambal 工場には尿素生産設備の改造と新設が進んでいる。完成すれば、尿素は現在の 200 万トン/年の生産能力から 800 万トンに増加し、自給率が大幅に上がる。
- * 南アフリカの Omnia 社は Sasolburg に世界最大級の硝酸と硝安工場を建設すると発表した。硝安の生産能力は 35 万トン/年、主に鉱山用爆薬と肥料用。総投資額 1.786 億ドル、ドイツの Uhde GmbH 社が設計、建設を担当、2012 年竣工予定。また、同社は Rsutenburg にあるりん酸肥料工場を拡張し、最終に年間 5.5 万トンりん酸を生産し、DAP や MAP の生産に供する計画。
- * 世界最大級のサウジアラビア Ma'aden りん酸肥料工場は建設が順調に進み、Al Jalamid にあるりん鉱石選鉱工場が完成済み、Ras Az Zawr にある粒状 DAP 工場の進捗率が 8 割を超えた。当該工場は 2010 年末試運転、2011 年から正式生産。生産能力は DAP300 万トン/年、りん酸 20 万トン/年、液体アンモニア 40 万トン/年、製品全部輸出。

その他

- * 中国は資源、エネルギーの消費大国として、昨年の統計では、中国 GDP は世界 GDP 総額の 4%しかないのに、世界石炭の 31%、石油の 8%、電力の 10%を消費した。鉱物資源の利用率は 30%で、世界平均水準より 20%低い。今年 1~4 月、原油輸入量 7785 万トン、輸入依存率 54.45%、天然ガス輸入量 45.1 億m³、輸入依存率 12.8%、石炭純輸入量 5058 万トン、日本を超えて、世界最大輸入国となった。
- * 6 月 11 日北京で開催された「中国窒素肥料市場情報商会」の会議において、中国窒素肥料工業会は「2010 年前半の窒素肥料生産状況報告」を公表した。今年も市場低迷と輸出不振で、特に尿素では長期定休と倒産、業種転換の企業が多く、これらの企業の尿素生産能力が 300 万トンを超えた。6 月 7 日現在、尿素産業の稼働率は 75%、稼働停止の企業は 45 社に達した。また、市場低迷、原料の天然ガス供給不足等の影響で、200 万トンの新設生産設備の稼働が延期になった。
- * ベルギーの Tessenderlo 社は所有の硫酸加里事業を譲渡する可能性が出てきた。該社はベルギーに 65 万トン/年とフランスに 40 万トン/年の硫酸加里生産設備を有する。2009 年の業績は 2.05 億ドルの赤字で、リストラの一環として、硫酸加里事業から撤退する。